

「2017年花葉会見学会&交流会」レポート

野 本 寿 久

昨年の見学会は群馬県にて開催しましたが、今年は隣県の栃木県で行なわれました。

見学先は花木、鉢物、苗物と多岐にわたる業種、さらに今回は花卉生産には欠かせない用土の製造販売を行う業者の見学を行いました。

当日は50名近くの方々にご参加頂きました。

楽樹園

栃木県鹿沼市にて名産のサツキの生産、販売を行っているらしいです。

園内には大小様々なサツキ盆栽があり、栽培行程の説明や実際の手入れの実演を見学できました。

サツキ盆栽は外国人にも好まれており、海外への輸出のために検疫を行ったり、海外から来園されるお客様向けに日本語、英語が記載されたパンフレットの作成もされていました。



(株)シダラ

生産者向けの培土や家庭園芸用の培養土などを生産、販売しているらしいです。

当地で採取することが出来る鹿沼土の生産風景、蒸気消毒槽や用土混合ラインの見学をしました。

育苗培土や花卉類、野菜専用培土、さらには生産者オリジナルのオーダーメイド用土など多岐多様な用土を生産するため、用土混合ラインはコンピュータ管理され、袋詰めからパレット積みに至るまでオートメーションにて生産出来るシステムが構築されていました。



(有)ジョルディカワムラ

栃木県日光市にてカリブラコアの育種、生産販売を行っているらしいです。公務員から新規就農された

方です。

「育種でニーズに応える」という考え方で生産者育種を行い、希少価値のある品種を育成したり独自性に重きを置いているということでした。

また、コスト意識が高く、従業員やパートの管理も徹底されている印象でした。



イッセイ花園

栃木県日光市でシクラメン、ペラルゴニウム、アジサイなどを生産していらっしゃいます。親子二代で高品質なシクラメン作りを受け継いでいます。品質第一をモットーに、品種の流行もあるが、まずは高品質に生産できる品種を中心に生産しているとのことでした。



竹原園芸

栃木県宇都宮市にてシクラメン、ハイビスカス、ゼラニウム、クチナシなどを生産していらっしゃいます。

昔からの生産品目を変えないことで同じものが同じ時期にあるという安心感から市場、小売店から信頼を得ています。また開花後に長持ちする品種を導入したり、品質の均一化を目指す努力をしたり、単価の向上を目指しています。





交流会

交流会は宇都宮市にあるレストラン・ラカンタにて行われました。

当日訪問した生産者、メーカーの方々も参加し、懇親や情報交換の場となり有意義な時間となりました。



例年同様に生産者、小売店、市場、種苗会社など花卉業界の関係者が集う機会となり、おかげさまで盛会の中、終了することが出来ました。

今回の見学会、交流会が参加下さった皆様の経営や技術向上の一助となれば幸いです。



来年も「花葉会見学会&交流会」を開催する予定です。

皆様のご参加をお待ちしております。